

2018(H30年)

3月17日(土) 養蜂部会 活動報告② 臨時招集

報告者: 宇佐美康夫

蜜搾り持寄り 13:00 ~ 15:00

参加者 : 永野ヒサエ・秋谷勲 ・堀内省吾・斉藤まさ江・飯野坦・池本加代子 ・
大坪三紀子・北田のり子・中野和子・田中稔彦 ・富沢崇・沼本春樹
本間東一 ・元吉 匡子 ・宇佐美康夫 以上 15名

活動項目 1. 3/10 持ち帰った、自然落下搾りのポタミツを持寄る。
2. 柿のき下の巣箱解体、巣蜜採取 新会員2名入会(中津美和子さん記入もれ?)

今日の作業 [1] 各人 ミツ搾り をして持ち帰った。
各人まちまちで巣ガラ・巣カスに蜜がかなり残っているもの。巣脾を砕いていないもの。
搾りハチミツも透明感の無いもの、金網、ザルを通しただけで残渣の混入のものでまちまちでした。
持ち帰った搾りミツは宇佐美が二次精製することになった。
幾人かの分はまとめて一つの容器に寄せたものがあるので、宇佐美が持ち帰った数は10個である。

[2] 自然落下の残りカス(巣ガラ・巣カス)の処理の方法を富澤リーダーより話が合った。
ザルに巣カスを入れて下に受け容器をセットして電子レンジでチンする。
溶けた溶液はザルを透過して受け容器の溜まる。その表面にミツロウが浮き固まり、
その下にはハチミツが貯まる。このハチミツはレンジでチンしているので料理用とすること。

この日 新会員が2名 解体4群目 柿のき下の巣箱解体した。営巣群は1群のみとなった。
新会員も含めて何人かで巣蜜を持ち帰り蜜搾りをする事になった。

宇佐美が一人では二次精製できず、田中さんと堀内さんに応援をお願いした。
一次絞りミツ(各自持寄り分) と オーガンジー使用での二次絞りの分担



10個写っている



② ③ ⑧
宇佐美搾り予定



⑦ ④ ⑤
田中さん搾り予定



⑥
堀内さん搾り予定



①と⑩は1次精製時にオーガンジーを使用して自然落下させた。